

No.66

津地区の景況調査

平成27年上期実績と平成27年下期見通し
(平成27年7月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と今後の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	6
3	売上の現状	8
4	利益状況	9
5	販売条件と仕入条件	10
6	設備投資	12
7	資金繰りの動向	12
8	借入の動向	14
9	借入予定と借入希望先	14
10	経営上の問題点	16
	調査票	18

I. 調査概要

1. 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
2. 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている2,155企業を対象に実施。
3. 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
4. 調査期間 平成27年7月1日～7月10日
5. 調査対象期間 平成27年1～6月実績と平成27年7～12月見通し
6. 回収集計数 回収集計数企業 321 (回収集計率 14.9%)
うち小規模企業 193
7. 調査機関 津商工会議所・中小企業相談所

DI-Diffusion. Index (ディフュージョン・インデックスの略)

本文のDIとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものでとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

B. S. I 値 (ビジネス・サーベイ・インデックス) の見方について

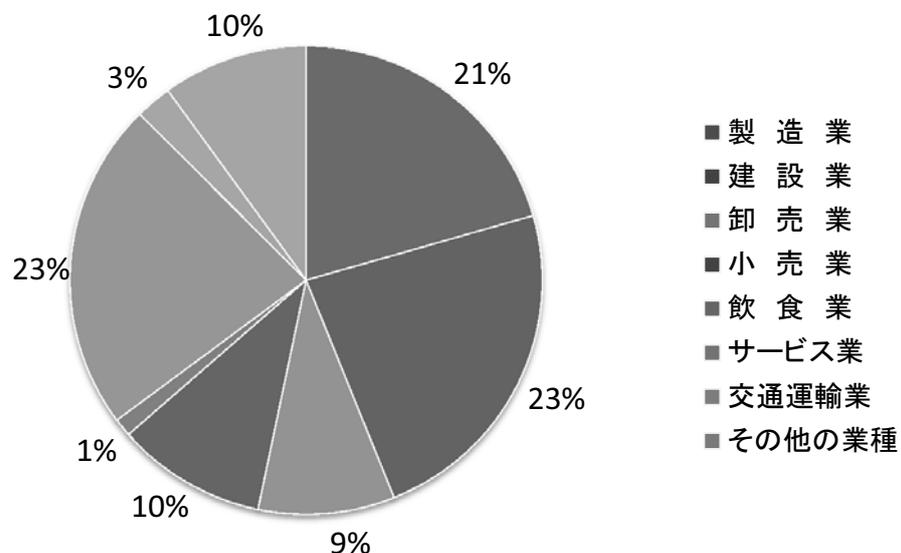
B. S. I. とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。

回答状況

業種別回答比率



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	無記入	計
全産業	136 42.4	104 32.4	36 11.2	20 6.2	21 6.5	4 1.2	321
製造業	17 25.8	20 30.3	11 16.7	8 12.1	9 13.6	1 1.5	66
建設業	39 52.0	25 33.3	8 10.7	2 2.7	1 1.3	0 0.0	75
卸売業	9 30.0	13 43.3	6 20.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0	30
小売業	20 60.6	7 21.2	3 9.1	1 3.0	2 6.1	0 0.0	33
飲食業	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4
サービス業	37 50.7	21 28.8	5 6.8	4 5.5	6 8.2	0 0.0	73
交通運輸業	3 37.5	2 25.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	8
その他の業種	8 25.0	15 46.9	3 9.4	1 3.1	2 6.3	3 9.4	32

全 産 業 D I

	業況判断	売り上げ	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
26年1月～6月 実績	△ 7.2	△ 3.2	△ 16.4	△ 16.2	△ 27.1	△ 7.0
26年7月～12月 実績	△ 16.4	△ 10.2	△ 18.1	△ 18.1	△ 24.2	△ 8.9
27年1月～6月 実績	△ 26.5	△ 27.2	△ 27.7	△ 20.2	△ 27.1	△ 14.1
27年7月～12月 見通し	△ 26.9	△ 25.4				△ 17.8

産 業 別 D I (27年1～6月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	△ 22.7	△ 18.2	△ 13.6	△ 12.2	△ 30.4	△ 13.6
建 設 業	△ 29.3	△ 25.4	△ 30.7	△ 17.4	△ 25.3	△ 13.3
卸 売 業	△ 53.3	△ 56.6	△ 50.0	△ 40.0	△ 33.3	△ 16.7
小 売 業	△ 18.3	△ 39.4	△ 21.2	△ 18.2	△ 42.5	△ 12.2
飲 食 業	△ 75.0	△ 75.0	△ 25.0	△ 50.0	△ 25.0	△ 75.0
サービス業	△ 20.6	△ 17.8	△ 26.0	△ 20.5	△ 21.9	△ 10.9

Ⅱ. 調査結果

1. 現状と今後の見通し（表－1、図－1・2参照）

※平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大実施。

(1) 現況

全産業の業況判断D Iは、今期実績値△26.5は前期△16.4と比べ、10.1ポイントの悪化となった。前回調査時から続けての悪化を示す結果となった。小規模企業は△33.2となっており、前期△16.3と比べ16.9ポイントの悪化となった。全体の業種別では小売業で改善、その他の業種では悪化の結果となった。建設業では今期△29.3と前々期20.3と比較すると49.6ポイントも悪化となった。

(2) 今後の見通し

全産業の見通し判断D Iは△26.9と、今期の現状実績値△26.5と横ばいの見通しを示している。小規模企業でも△29.5の見通しで、今期の現状実績値△33.2より若干の改善を示している。また小規模企業では現状では大きく悪化した建設業と卸売業は改善の見通しを示している。

表－1 経営の現状と今後の見通し

	実 績			来期の見通し
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全 産 業	△ 7.2 △ 7.5	△ 16.4 △ 16.3	△ 26.5 △ 33.2	△ 26.9 △ 29.5
製 造 業	△ 4.8 △ 8.8	△ 19.0 △ 18.9	△ 22.7 △ 32.4	△ 22.6 △ 29.7
建 設 業	20.3 14.5	△ 7.6 △ 8.8	△ 29.3 △ 37.5	△ 14.6 △ 17.2
卸 売 業	△ 6.9 △ 15.4	△ 23.1 △ 20.0	△ 53.3 △ 55.5	△ 36.7 △ 44.4
小 売 業	△ 25.0 △ 36.5	△ 25.6 △ 24.0	△ 18.3 △ 25.0	△ 33.4 △ 35.0
飲 食 業	△ 60.0 △ 75.0	△ 25.0 △ 25.0	△ 75.0 △ 66.7	△ 75.0 △ 66.7
サービス業	△ 24.7 △ 25.6	△ 8.2 △ 14.8	△ 20.6 △ 29.7	△ 24.7 △ 21.6

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

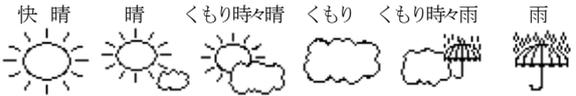
※下段D I値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				

卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

D I = 好転 (良い、やや良い) の割合 - 悪化 (やや悪い、悪い) の割合 △はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期ごとのD I 値により表示



景気判断 D I

50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

図-1 津地区の経営の現状と見通し

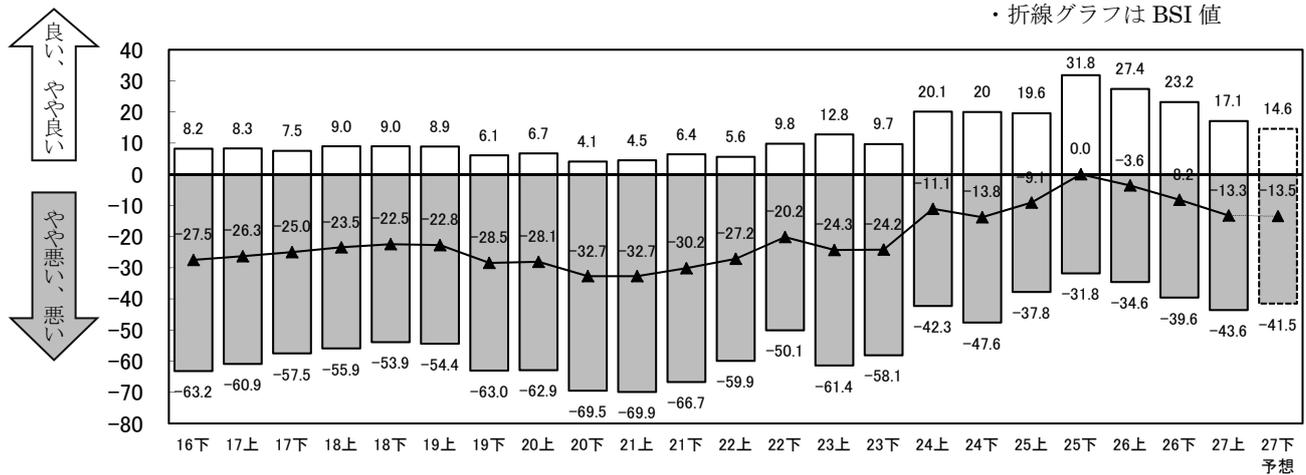
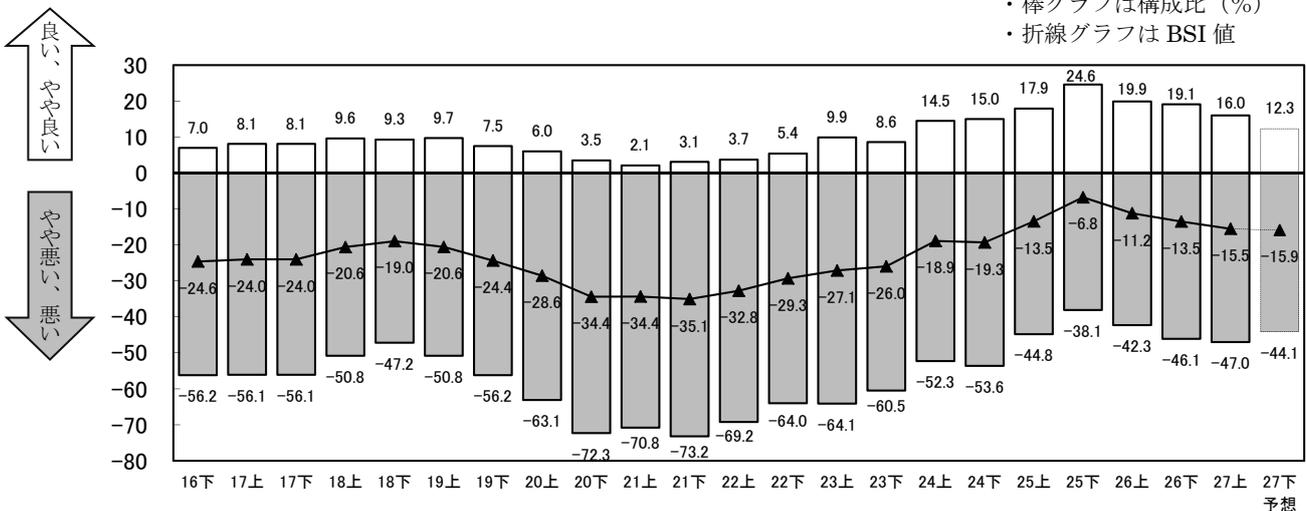


図-2 三重県下の経営現状と見通し



2. 売上状況と来期の見通し（表－2 参照）

(1) 今期の動向

全産業の売上DIは今期△27.2、前期△10.2と比べ17.0ポイントの悪化となった。前々回調査では△3.2であり、連続して悪化の結果となった。業種別で見るとサービス業は横ばいであるが、その他の業種は数値を悪化させている。中でも建設業では前回調査より31.4ポイント悪化、卸売業でも△7.7から△56.6へ48.9ポイント悪化している。

(2) 今後の見通し

全産業の売上見通し判断DIは△25.4、今期の現状実績値△27.2と1.8ポイント改善する見通しとなっている。業種別では、製造業が若干の悪化他は横ばい、または改善の見通しとなっている。小規模企業では建設業と卸売業は改善の見通しを示しており、建設業では今期△32.9から△25.1へ上昇となっている。

表－2 最近の売上と今後の見通し

	実 績			今後の見通し
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全 産 業	△ 3.2 △ 7.4	△ 10.2 △ 12.6	△ 27.2 △ 32.1	△ 25.4 △ 33.7
製 造 業	0.0 △ 14.6	△ 13.8 △ 16.2	△ 18.2 △ 18.9	△ 25.8 △ 32.4
建 設 業	29.7 25.3	6.0 1.8	△ 25.4 △ 32.9	△ 21.4 △ 25.1
卸 売 業	3.5 △ 23.1	△ 7.7 △ 10.0	△ 56.6 △ 66.6	△ 40.0 △ 44.4
小 売 業	△ 22.2 △ 31.8	△ 9.3 △ 12.0	△ 39.4 △ 45.0	△ 30.3 △ 45.0
飲 食 業	△ 60.0 △ 75.0	△ 25.0 △ 25.0	△ 75.0 △ 66.6	△ 75.0 △ 66.7
サービス業	△ 26.0 △ 28.2	△ 14.8 △ 22.2	△ 17.8 △ 21.6	△ 16.3 △ 24.3

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

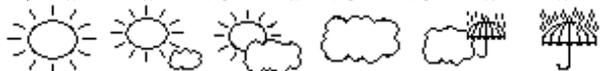
△はマイナス表示
※下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				

卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示
 快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



※下段DI値は小規模企業

景気判断 DI

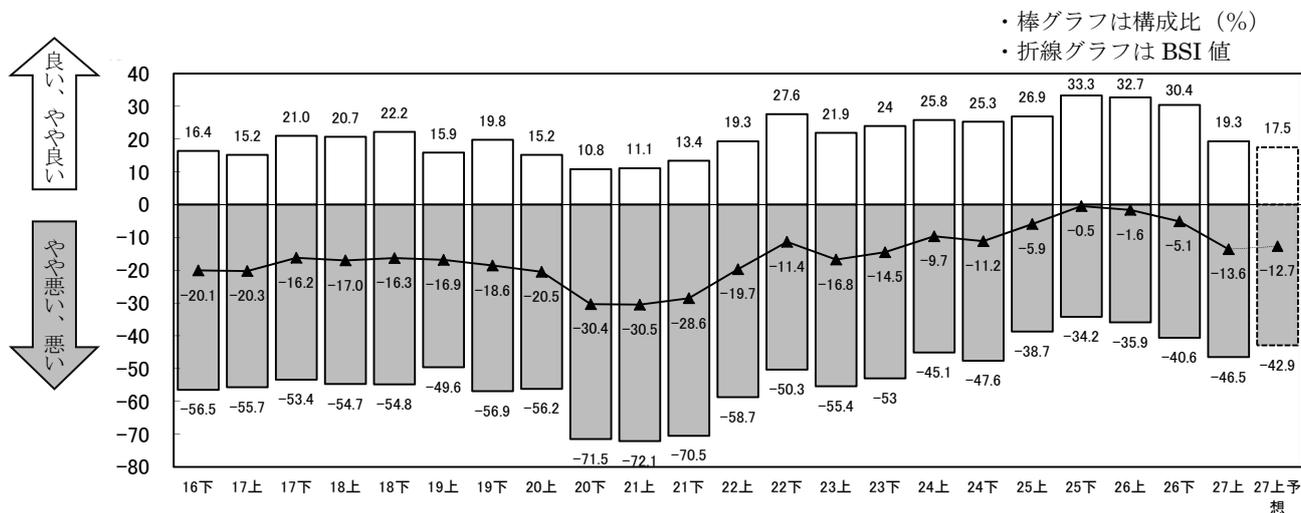
50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
 50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

3. 売上の現状（図－3・4参照）

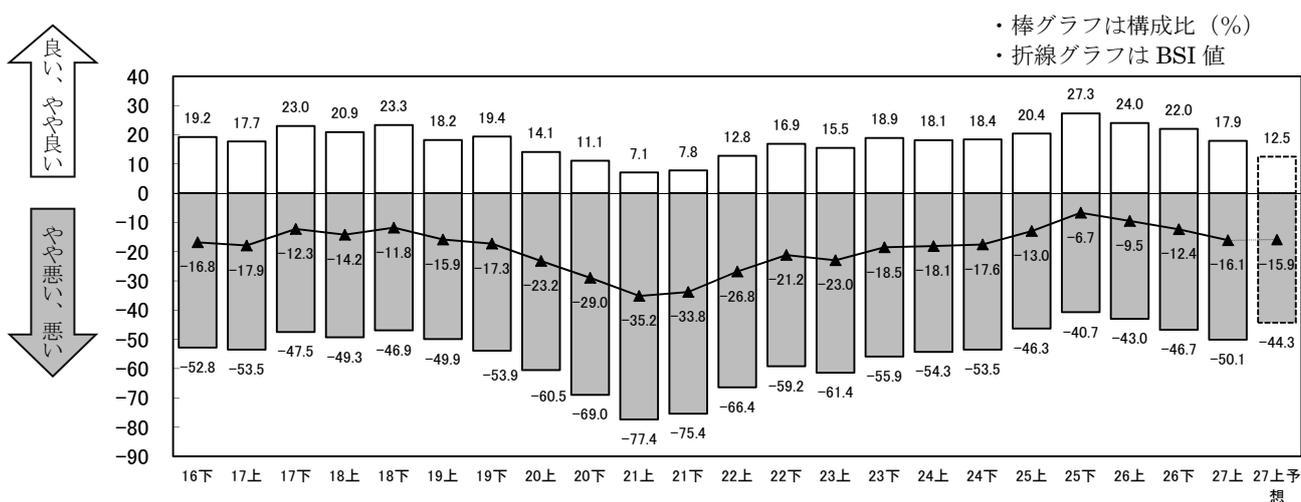
今期売上が増加した企業は全体で321企業中62企業19.3%（前期30.4%）、小規模企業では193企業中28企業14.5%（前期28.4%）。全体、小規模企業ともに悪化を示している。

一方、今期売上が減少した企業は321企業中149企業46.4%（前期40.6%）、小規模企業では193企業中90企業46.6%（前期41.0%）。全体、小規模企業ともに悪化となった。

図－3 津地区の売上の現状と見通し



図－4 三重県下の売上の現状と見通し



4. 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益判断D Iは△27.7と前期△18.1に比べ9.6ポイント悪化した。業種別で見ると建設業が大幅に数値を下げている。同じく卸売業も大幅に数値を下げているが、製造業、小売業は小幅な改善となっている。小規模企業では今期△31.5と前期△21.8と9.7ポイントの悪化となった。特に建設業では27.3ポイントの悪化、卸売業では46.6ポイントの悪化となっており、小規模企業全体のD Iを押し下げている。一方、製造業では改善が見られた。

表－3 利益状況

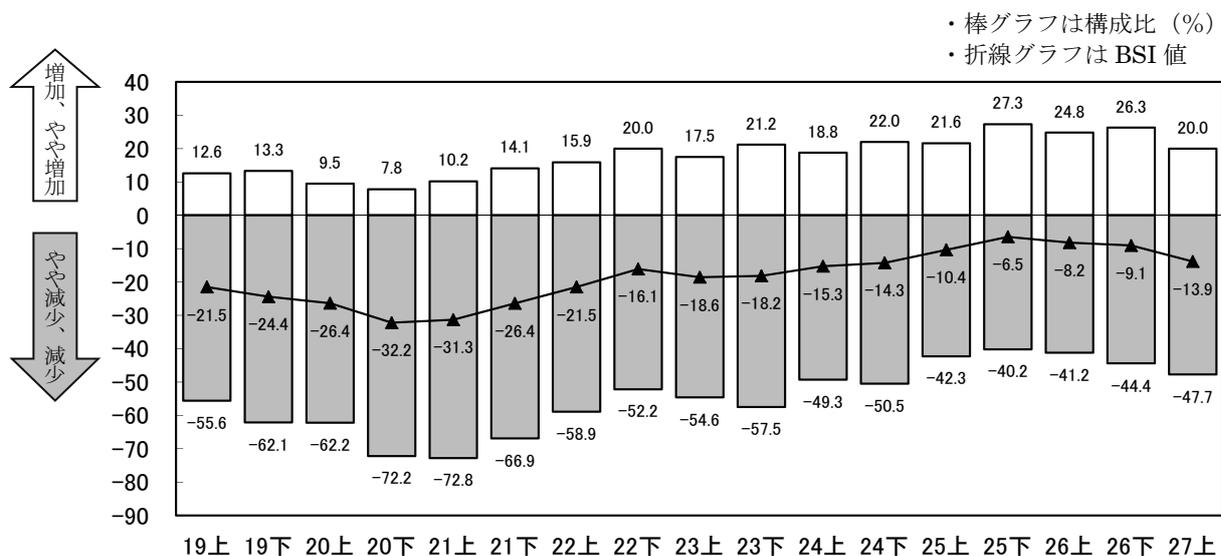
	実 績		
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期
全 産 業	△ 16.4 △ 17.1	△ 18.1 △ 21.8	△ 27.7 △ 31.5
製 造 業	△ 27.0 △ 41.3	△ 22.4 △ 29.7	△ 13.6 △ 16.2
建 設 業	18.7 14.5	△ 6.1 △ 8.7	△ 30.7 △ 36.0
卸 売 業	△ 20.6 △ 30.8	△ 30.8 △ 20.0	△ 50.0 △ 66.6
小 売 業	△ 30.5 △ 36.4	△ 23.2 △ 24.0	△ 21.2 △ 20.0
飲 食 業	△ 60.0 △ 75.0	△ 25.0 △ 25.0	△ 25.0 0.0
サービス業	△ 32.5 △ 30.8	△ 13.2 △ 25.9	△ 26.0 △ 35.1

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段D I値は小規模企業

図－5 利益状況



5. 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－4、図－6参照）

全産業の販売条件判断D Iは△20.2と前期△18.1に比べ2.1ポイント下降となった。業種別で見ると卸売業では20.7ポイント下降しているが、製造業では12.0ポイント上昇となった。建設業は6.8ポイント下降し、販売条件は悪化している状況がうかがえる。小規模企業の全産業D Iではリーマンショック以降ならかに回復傾向が続いていたが、今回は6.9ポイント下降した。

表－4 販売条件

	実 績		
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期
全 産 業	△ 16.2	△ 18.1	△ 20.2
	△ 15.5	△ 15.9	△ 22.8
製 造 業	△ 23.9	△ 24.2	△ 12.2
	△ 35.3	△ 18.9	△ 16.2
建 設 業	4.7	△ 10.6	△ 17.4
	△ 0.1	△ 8.8	△ 23.4
卸 売 業	△ 27.6	△ 19.3	△ 40.0
	△ 15.4	△ 10.0	△ 44.4
小 売 業	△ 25.0	△ 25.7	△ 18.2
	△ 27.3	△ 16.0	△ 10.0
飲 食 業	△ 60.0	0.0	△ 50.0
	△ 75.0	0.0	△ 66.6
サービス業	△ 24.7	△ 18.1	△ 20.5
	△ 23.1	△ 22.2	△ 24.3

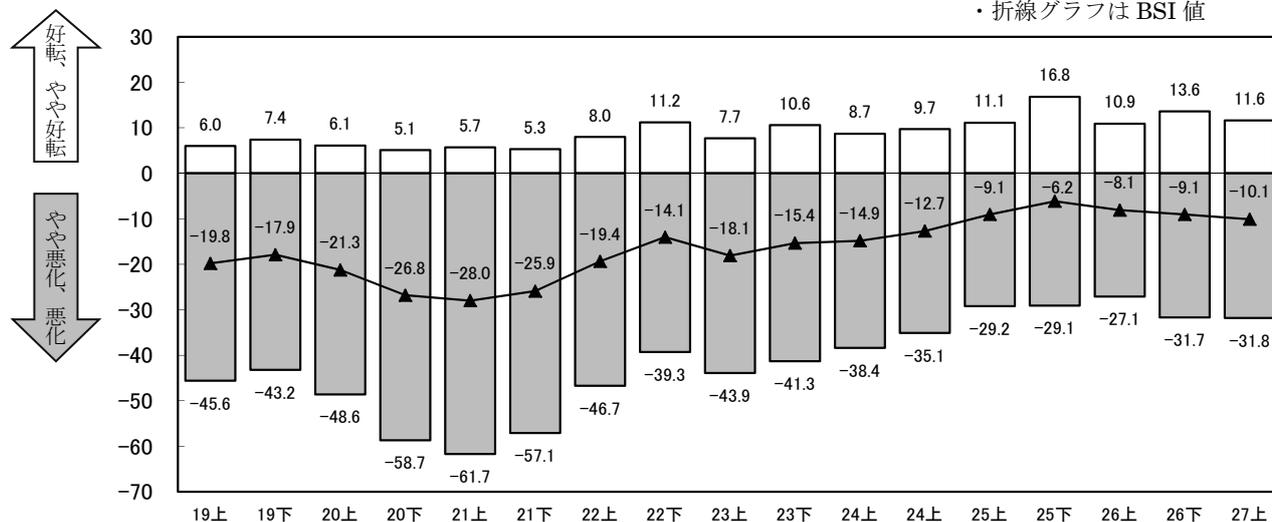
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段()内D I値は小規模企業

図－6 販売条件

・棒グラフは構成比（%）
・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表-5、図-7参照)

全産業の仕入条件判断DIは△27.1と前期△24.2に比べ、若干の下降の数値となった。業種別で見ると製造業は数値を戻し、△30.4で前年同期の水準まで回復した。製造業DIは、平成25年上期で△32.7、同年下期では△43.3、平成26年上期△26.9、同年下期で△36.2の推移を辿っており、仕入状況に不安定さを含んでいる。小規模企業でも建設業は△40.5と低迷している。

表-5 仕入条件

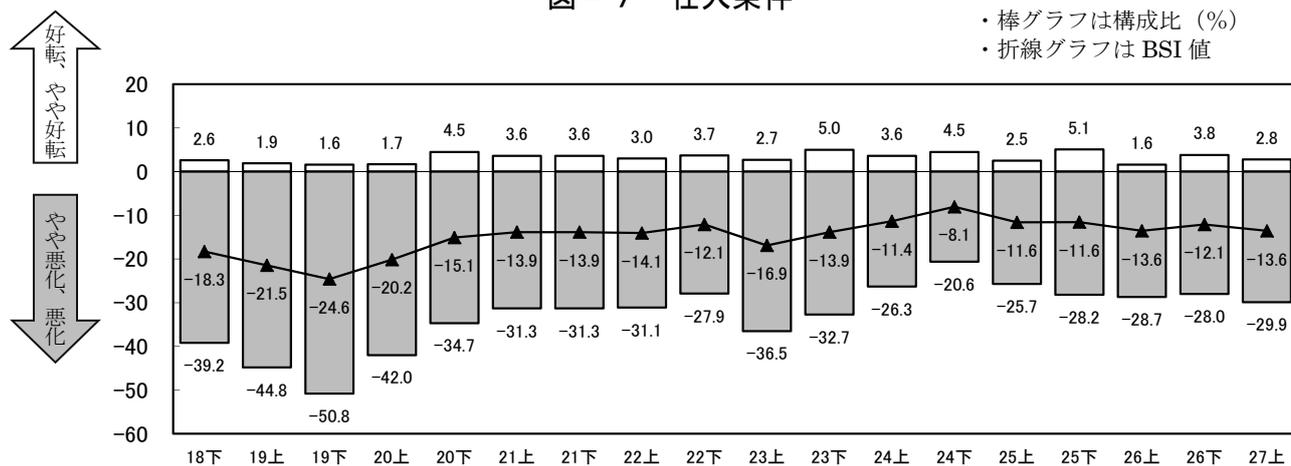
	実 績		
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期
全 産 業	△ 27.1	△ 24.2	△ 27.1
	△ 25.5	△ 23.5	△ 28.5
製 造 業	△ 26.9	△ 36.2	△ 30.4
	△ 35.3	△ 37.8	△ 40.5
建 設 業	△ 24.9	△ 13.7	△ 25.3
	△ 23.6	△ 10.4	△ 28.2
卸 売 業	△ 41.3	△ 34.6	△ 33.3
	△ 30.8	△ 30.0	△ 44.4
小 売 業	△ 27.7	△ 25.5	△ 42.5
	△ 22.8	△ 24.0	△ 45.0
飲 食 業	△ 60.0	△ 50.0	△ 25.0
	△ 50.0	△ 50.0	0.0
サービ業	△ 24.7	△ 19.7	△ 21.9
	△ 20.5	△ 25.9	△ 16.2

DI=好転 (高い) の割合-悪化 (低下) の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-7 仕入条件



6. 設備投資（表－6参照）

（1）今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、321企業中89企業27.7%と前期28.7%と比べ、横ばいとなった。業種別ではサービス業は大きく割合を下げたが、前期割合を下げた製造業は大きく伸ばした。小規模企業においても同様の傾向であるが、小売業は実施割合を増加させた。

（2）来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は321企業中83企業25.9%と今期実績値28.7%に比べ減少の見通しとなっている。しかし製造業は今期実績値並みの水準の見通しとなっている。

表－6 設備投資実施企業割合

（単位：％）

	実 績			来期計画
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全産業	22.8 14.4	28.7 15.8	27.7 20.2	25.9 16.6
製造業	36.5 14.7	25.9 10.8	45.5 27.0	37.9 21.6
建設業	15.6 16.4	22.7 15.8	22.7 17.2	16.0 10.9
卸売業	10.3 0.0	23.1 20.0	23.3 0.0	16.7 0.0
小売業	19.4 4.5	25.6 4.0	24.2 10.0	21.2 15.0
飲食業	20.0 25.0	0.0 0.0	25.0 33.3	50.0 33.3
サービス業	16.9 10.3	44.3 37.0	21.9 18.9	31.5 27.0

※下段の値は小規模企業

7. 資金繰りの動向（表－7、図－8参照）

（1）今期の動向

全産業の今期の資金繰り判断D Iは△14.1と前期△8.9に比べ5.2ポイントの悪化となった。業種別では建設業では大幅な悪化が見られ、プラスの値を維持していたがマイナスへ下降する結果となった。小規模企業でも建設業は過去5年で比較しても高い数値を示してきたが、今期は32.3ポイント悪化しマイナスへ転じた。

（2）来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断D Iは△17.8と今期実績値△14.1に比べ、3.7ポイント減少の見通しで、大幅な改善は見込まれていない。

表-7 資金繰り

	実績			来期見通し
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全産業	△ 7.0 △ 6.4	△ 8.9 △ 9.4	△ 14.1 △ 19.1	△ 17.8 △ 21.8
製造業	△ 8.0 △ 23.5	△ 20.6 △ 24.3	△ 13.6 △ 16.2	△ 18.2 △ 24.3
建設業	7.9 7.3	10.7 10.5	△ 13.3 △ 21.8	△ 21.4 △ 26.6
卸売業	△ 17.2 △ 15.4	△ 7.6 0.0	△ 16.7 △ 33.3	△ 23.3 △ 22.2
小売業	△ 11.2 △ 4.6	△ 16.3 △ 16.0	△ 12.2 △ 20.0	△ 6.0 △ 10.0
飲食業	△ 20.0 △ 50.0	△ 25.0 △ 25.0	△ 75.0 △ 66.6	△ 50.0 △ 33.3
サービス業	△ 20.8 △ 15.4	△ 13.2 △ 14.8	△ 10.9 △ 10.8	△ 9.6 △ 8.1

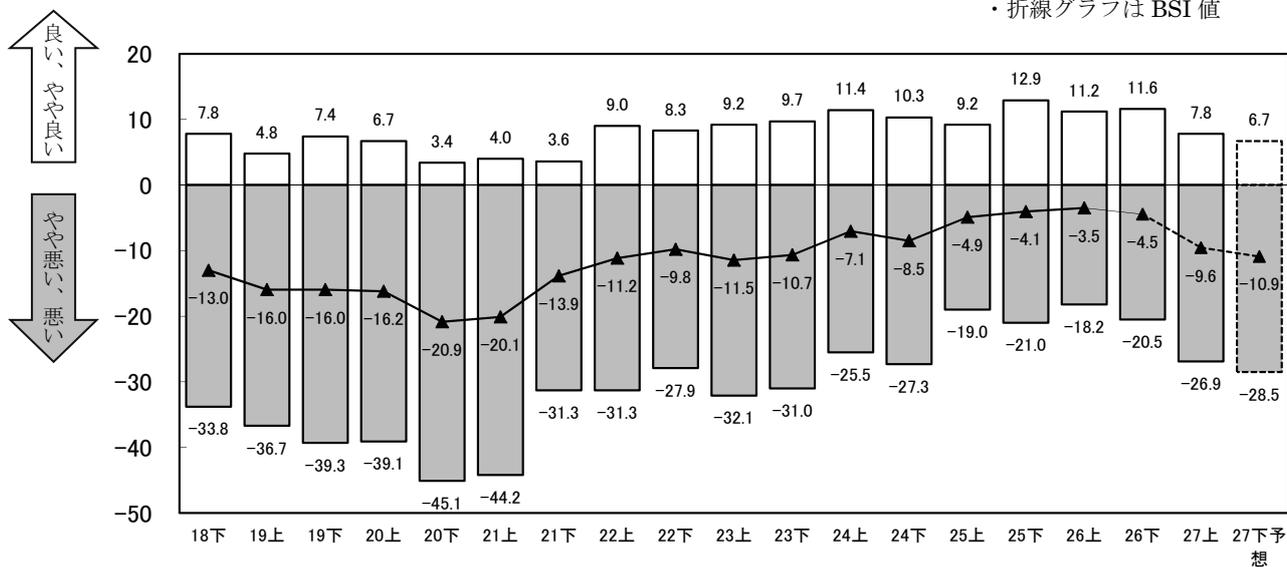
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-8 資金繰りの現状と見通し

- ・棒グラフは構成比（%）
- ・折線グラフはBSI値



8. 借入の動向（表－8参照）

全産業の借入難易度判断DIは12.2と前期11.4に比べ0.8ポイントの改善となった。小規模企業では10.7と前期よりさらに回復の数値となった。業種別では、卸売業・小売業が3期連続して回復しており、製造業でも回復が見られる。

表－8 借入の難易度

	実 績		
	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期
全 産 業	4.9	11.4	12.2
	1.2	7.5	10.7
製 造 業	5.1	3.1	14.3
	0.0	0.0	25.0
建 設 業	13.8	16.2	17.5
	10.3	3.3	12.5
卸 売 業	11.7	25.0	31.5
	16.6	25.0	0.0
小 売 業	5.3	13.1	33.3
	△ 11.1	11.1	33.3
飲 食 業	△ 100.0	0.0	△ 50.0
	△ 100.0	0.0	△ 100.0
サービス業	△ 5.4	3.3	△ 3.1
	△ 8.3	33.3	0.0

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

9. 借入予定と借入希望先（図－9参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は321企業中68企業で全体の21.2%、前期は19.8%であり、借入希望は微増でほぼ横ばいである。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は76.5%と前期77.6%と横ばいである。公的金融機関が23.5%であり、前期19.0%と比較して増加となっている。

資金使途では運転資金は64.7%（前期62.1%）、設備資金33.8%（前期37.9%）となっており、今期では設備資金への資金需要は減少が見て取れる。

図-9-① 借入予定

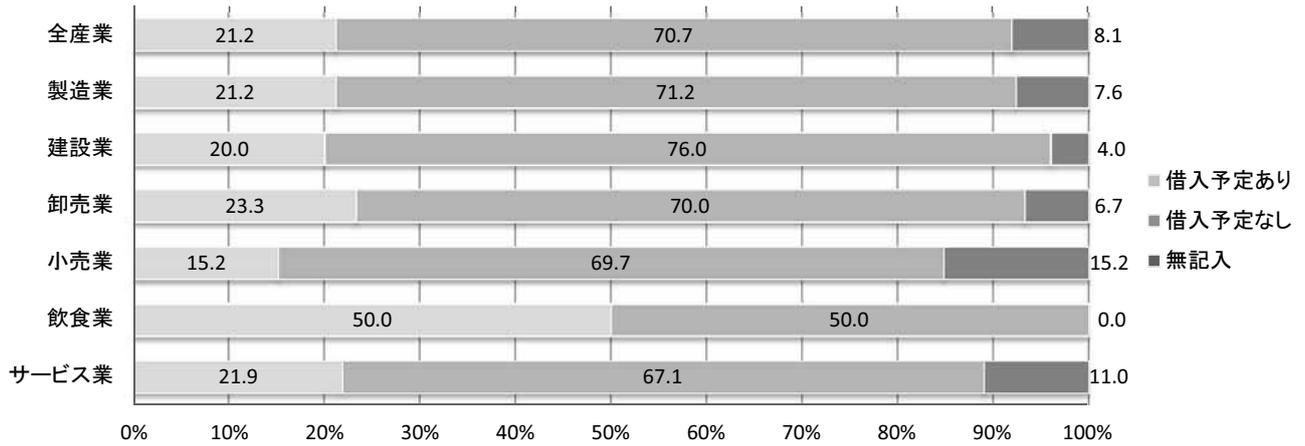


図-9-② 借入希望先

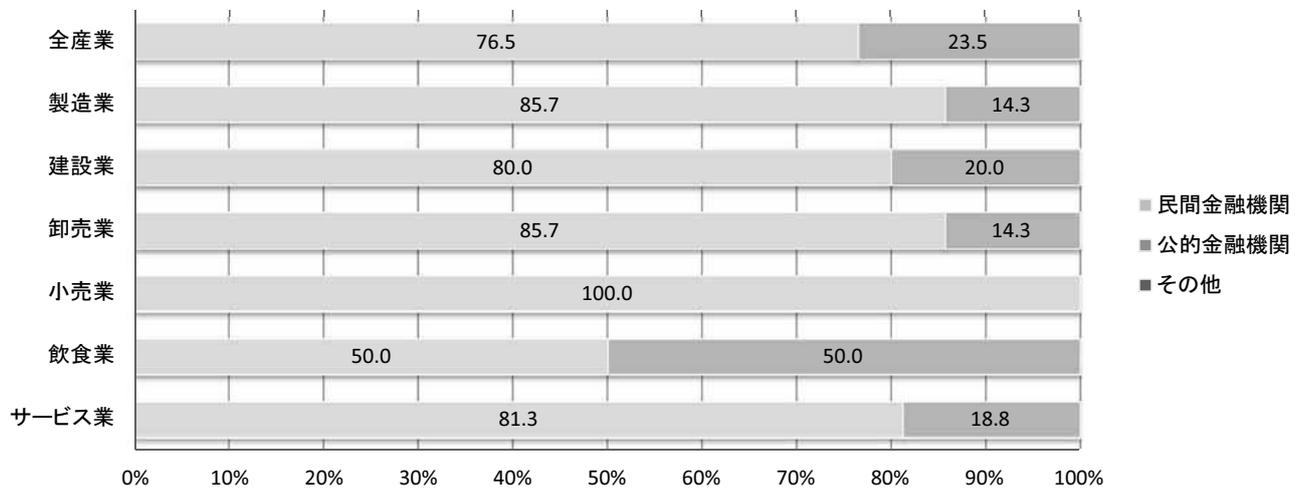
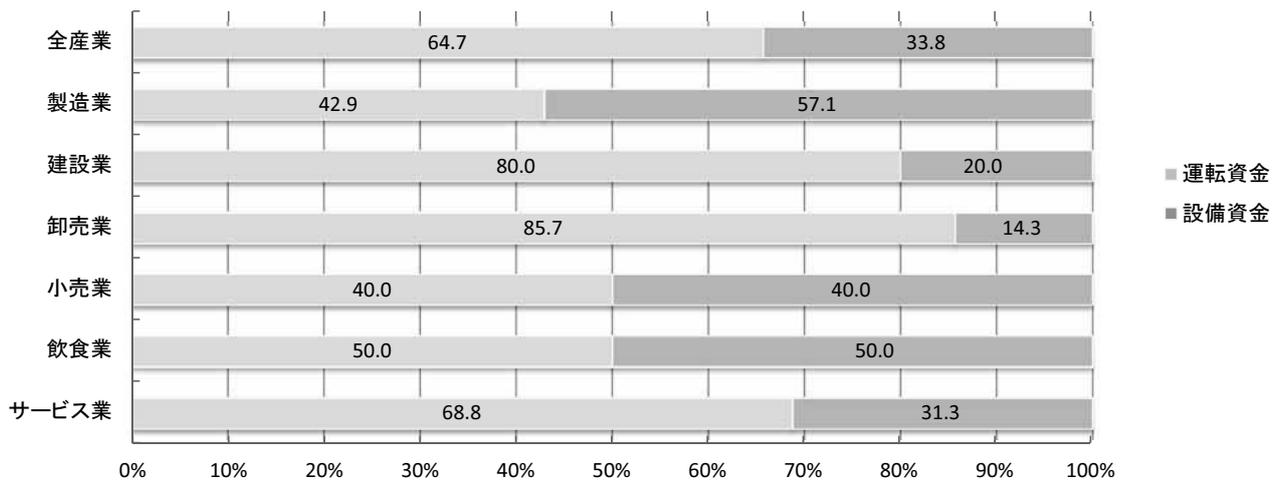


図-9-③ 借入資金の用途予定

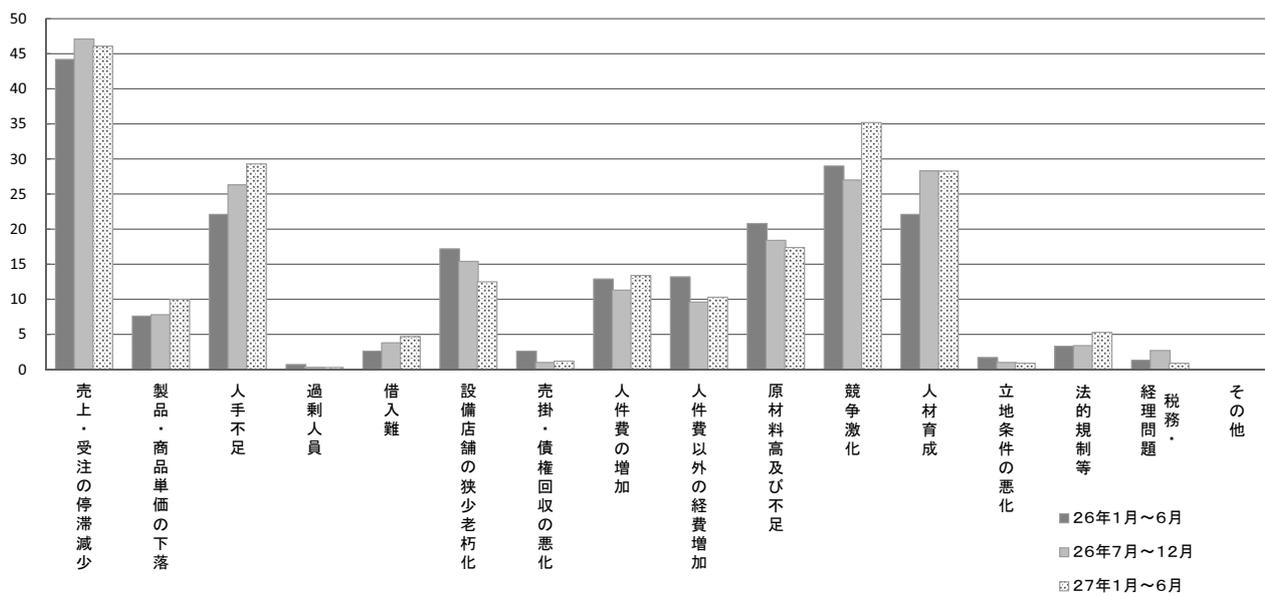


10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（図－10、表－9参照）

全産業の経営上の問題点は1位は25期連続で「売上・受注の停滞・減少」となったが、2位は前期3位へ順位を下げた「競争激化」が再び2位へ戻り、3位は「人手不足」となった。「人材育成」も4位と高い順位である。「人手不足」は増加傾向であり、「原材料高及び不足」も問題点として捉えられている割合は高い。業種別で見るとサービス業では、「競争激化」が順位を上げている。

図－10 全産業・経営上の問題点

（単位：％）



表－9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		26年7月～12月期			27年1月～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産 業 別	全産業	売上・受注の 停滞減少 47.1	人材育成 28.3	競争激化 27.0	売上・受注の 停滞減少 46.1	競争激化 35.2	人手不足 29.3
	製造業	売上・受注の 停滞減少 53.4	原材料高及 び不足 32.8	競争激化 27.6	売上・受注の 停滞減少 39.4	原材料高及 び不足 25.8	競争激化 25.8
	建設業	売上・受注の 停滞減少 37.5	人手不足 39.4	人材育成 31.8	売上・受注の 停滞減少 46.7	人手不足 45.3	競争激化 32.0
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 46.2	人材育成 38.5	競争激化 34.6	売上・受注の 停滞減少 63.3	競争激化 53.3	人材育成 30.0
	小売業	売上・受注の 停滞減少 60.5	人手不足 23.3	人材育成 23.3	売上・受注の 停滞減少 51.5	競争激化 36.4	人手不足 24.2
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 75.0	原材料高及 び不足 50.0	人材育成 25.0	売上・受注の 停滞減少 50.0	人手不足 50.0	設備店舗の 狭小老朽化 50.0
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 37.7	人材育成 36.1	競争激化 34.4	競争激化 43.8	売上・受注の 停滞減少 38.4	人手不足 35.6

景況調査票

平成27年7月

会議所	N.O.	コード

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	26.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他()		

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0 ~ 5 人	2. 6 ~ 20 人	3. 21 ~ 50 人	4. 51 ~ 100 人	5. 101 人以上
------------	-------------	--------------	---------------	------------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について…平成27年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

理由:

4. 今後の見通しについて…平成27年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますが。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

理由:

5. 売上状況について…平成27年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

6. 売上の見通しについて…平成27年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますが。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

7. 利益状況について…平成27年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成27年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成27年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入なし
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	---------

10. 設備投資について

27年1～6月の実績		27年7～12月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

11. 資金繰りの現状について…平成27年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

12. 資金繰りの見通しについて…平成27年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますが。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

13. 借入の現状について…平成27年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容	易	2. 普	通	3. 困	難
------	---	------	---	------	---

14. 借入予定はどうか…(平成27年7～12月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()

ご協力ありがとうございました。

津地区の景況調査 No.66

平成27年9月発行

■ 編集 津商工会議所・中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内2-9-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1-3-47-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665